TECHNIX ADVANCED SMART CARTRIDGE

TASC for HONDA X-ADV

ノーマルフロントフォークにダンピングアジャスターを後付け！
高機能カートリッジフォークへ X-ADV をアップグレード！

TASC 内部イメージ
（写真は MT-09）

TASC for HONDA X-ADV（2017-2023）¥129,800（税抜¥118,000） TASCXADV

TASC は部品単品での販売はしておりません。TASC の組込みには高度な技術を要するため、弊社にて組込み作業を行います。表示価格には組込み工賃が含まれております。

TASC 組込み時に消耗部品の交換料金 ¥8,580（税抜¥7,800）
交換部品：スライドメタル、ガイドメタル、ダストシール、オイルシール

ノーマルフォークスペック

- 伸側 ダンピングアジャスター
- SFF カートリッジ
- プリロードアジャスター

▶

TASC フォークスペック

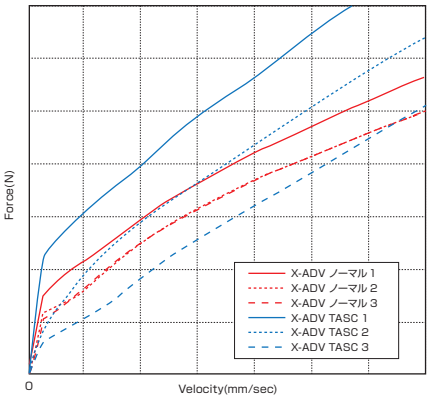
- 伸側 ダンピングアジャスター
- 圧側 ダンピングアジャスター
- カートリッジ式 高性能積層シム
- TASC スプリングプリロードアジャスター
- 専用 フォークスプリング

アドベンチャースピリットをさらに掻き立てるサスペンション！

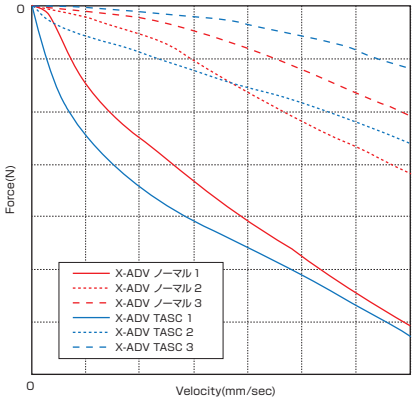
純正フォークの減衰力調整はリバウンド側（伸び側）のみの調整機能になり、コンプレッションアジャスター（縮側調整機能）がないフォークを採用する X-ADV。
プリロード量が少ないため1G での沈み込み量も多くなり、有効ストロークが少なく、減衰力も不足しているため接地感が感じづらい。
またブレーキングでは奥でストロークが止まるような感じがあり思い切ったライディングができない。
そこで、Technix ではフロントフォークの弱点を補うべく TASC キット X-ADV 用に新たに開発。スプリングレートを適正化し、
積層シム型バルブ システムを用い完全カートリッジ化を図る。片側をコンプレッションダンパー、
もう片方をリバウンドダンパーの左右独立調整式システムに大きく変更。
ダンピングにワイドな調整幅を持たすことで、ストリートから林道走行まで異なるシチュエーションで最適な特性を得ることが可能に。

ダイノテストと実走行テストで、様々なライディングフィールドの
セッティングデータをチャート化し仕様を決定しています。

X-ADV TASC コンプレッションの比較例



X-ADV TASC リバウンドの比較例



ストリートセット 街乗り・林道走行でも乗り心地を損なわないようにプリロードを抜き小さなギャップ通過時の突き上げも確実に吸収しライダーへの不快感を大幅に軽減。
大きな起伏でもタイヤが追従し、急激なブレーキングでも対応できるようセットアップ。

ワインディングセット 積極的にバイクを旋回させるため、ブレーキを当てながらコーナーにアプローチすることを前提にストリートよりもプリロードを掛け、
アクセルワークで容易にフロントが入るようにコンプレッションは弱めにセット。コーナリング中の接地感とフォークの動作感を両立できるようセットアップ。

弊社テストでは、リアショックを「NITRON　R1 シリーズ」を装着してテストしております。車体のバランスを取るために同ショック又は同等の社外品への交換を推奨致します。
同ショックを装着の場合には、各ステージごとのリアショックセットアップデータの提供も可能です。

Technix racing suspension
有限会社テクニクス

［ご注意］：製品の改良・相場の変動により、価格・仕様は予告無く変更される場合があります。掲載の色調は環境により実際と異なる場合があります。